

Game Report

開催場所：東海大学九州

試合区分：第 25 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2018 年 10 月 28 日(日)

試合時間：12：20～ CC：西村 かおり U1：小川 隆三 U2：野田 宏樹

日本経済大学	○ 8 2	16	—1st—	25	● 6 6	鹿屋体育大学
		23	—2nd—	15		
		20	—3rd—	12		
		23	—4th—	14		

第 1 ピリオド

日経大ボールでスタート。激しいゴール下の戦いが繰り広げられている。鹿体大#0 時長はファウルを貰い 1 点ずつフリースローを重ねる。立て続けに#0 時長が 3 P、2 P シュートを決め、流れに乗る鹿体大。対する日経大は#35 岡田のドライブと#00 マレムのポストプレイを中心に確実にシュートを決め、一進一退の攻防が続く。中盤は互いにシュートを狙うもなかなか決まらない時間帯が続く。残り 30.4、鹿体大#36 飯隈のバスケットカウント、さらには#38 國松のレイアップシュートが決まる。16-25、鹿体大リードで第 2 ピリオドへ。

第 2 ピリオド

序盤、鹿体大は第 1 ピリオドの流れを味方にし、#38 國松は 3 P シュートを決める。しかし、日経大#13 喜多による 3 P シュートを決め、鹿体大の流れを食い止める。中盤、鹿体大#1 石塚と#0 時長の連続シュートによりさらに得点を引き離す。日経大は#35 岡田のスピードに乗ったドライブによりバスケットカウントを決める。さらに#13 喜多の 3 P シュートが決まり、鹿体大は堪らずタイムアウトを請求。タイムアウト明け、必死に守る鹿体大だが日経大にフリースローを与える。日経大は確実にフリースローを決め、#13 喜多のブザービーターにて第 2 ピリオド終了。39-40、鹿体大リードで後半戦へ突入。

第 3 ピリオド

開始早々、鹿体大#23 大底のシュートが決まり、対する日経大は#35 岡田の 3 P シュートで試合を振り出しに戻す。日経大#77 清本のレイアップシュート、#13 喜多の 3 P シュートが続けて決まり、流れに乗る日経大。さらに#00 マレムのポストプレイでゴール下でのシュートをねじ込む。鹿体大は#23 大底を中心にリバウンドを追い続け、パスをつなげる。#0 時長のシュートで決め返すも、リングへ果敢に攻め続けた日経大は、59-52 で逆転し最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

追いつきたい鹿体大は、積極的にシュートを狙い#0 時長、#35 篠原の連続 3 P シュートで点差を縮める。終盤、日経大はメンバーを変えつつ点数を重ねていく。11 点を追う鹿体大は攻め続けるもシュートがなかなか決まらない。一生懸命チーム一丸となって、守る鹿体大だったがファウルゲームとなり日経大にフリースローを与えてしまう。82-66 で絶対王者の意地を見せた日経大の勝利でリーグ戦を締めくくった。